

## 新青丸共同利用研究航海報告

- \* 航海番号 KS-24-5次研究航海
- \* 航海名称 (和文) 福島沿岸での事故後の放射性核種の動態解析、生態系の環境応答、  
そして ALPS 処理水放出対応  
(英文) Dynamics and bioavailability of radionuclides in the waters  
off Fukushima, and monitoring for the discharge of ALPS  
water
- \* 観測海域 (和文) 常磐沖  
(英文) Off Joban
- \* 航海期間 令和6年3月22日(金)～令和6年3月27日(水)
- \* 出港日時・場所 3月22日 14時 横須賀港
- \* 入港日時・場所 3月27日 10時 横須賀港
- \* 寄港期間・場所 無し
- \* 研究課題 福島沿岸海域における放射性核種の動態および生態系の環境応答
- \* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)  
高田 兵衛・福島大学環境放射能研究所・准教授・h.takata@ier.fukushima-u.ac.jp
- \* 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目
  1. 沿岸域における溶存態放射性核種の供給フラックスの観測  
乙坂 重嘉(otosaka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp): 海底堆積物の放射性核種分布
  2. 沿岸域における放射性核種の動態把握  
高田 兵衛(h.takata@ier.fukushima-u.ac.jp): トリチウム分析
  3. 沿岸域における底生生物中放射性セシウム分布  
三浦 輝(hi-miura@criepi.denken.or.jp): 高線量粒子、底生生物中放射性セシウム分布
  4. 福島第一原発施設近傍における放射性核種の生態系の環境応答  
西川 淳(jun\_nishikawa@tokai.ac.jp): プランクトン、マイクロネクトン、及び魚類等ネクトン中の放射性核種濃度分布

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

高田 兵衛	福島大学・環境放射能研究所	准教授
乙坂 重嘉	東京大学・大気海洋研究所	准教授
西川 淳	東海大学・海洋研究所	教授
三浦 輝	電力中央研究所・サステナブルシステム研究本部	主任研究員
西野 圭佑	電力中央研究所・サステナブルシステム研究本部	研究員
松枝 誠	日本原子力研究開発機構・廃炉環境国際共同研究センター	研究員
鈴木 崇史	日本原子力研究開発機構・原子力基礎工学研究センター	研究主幹
剣持 瑛行	東海大学 海洋学研究所	特定助教
Núria Casacuberta Arola	チューリッヒ工科大学	助教
Habacuc Pérez-Tribouillier	チューリッヒ工科大学	研究員
戸田 亮二	東京大学・大気海洋研究所	技術職員
Jiang Youwen	東京大学・大学院新領域創成科学研究科	大学院生
亀山 星奈	東海大学・海洋学部・海洋生物学科	学部生
小峰 あかり	東海大学・海洋学部・海洋生物学科	学部生
中野 幸彦	マリン・ワーク・ジャパン	観測技術員

\* 航跡・測点図

